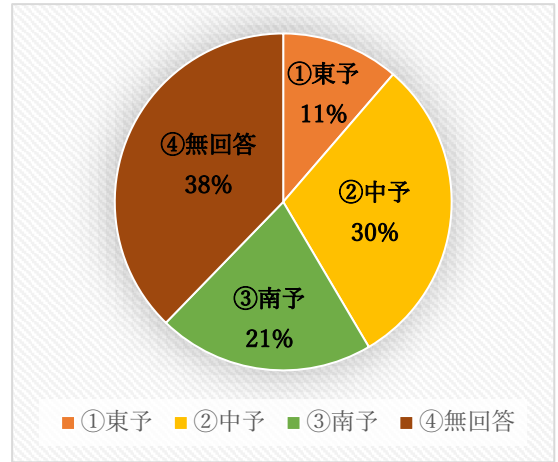


令和3年度合同研修会 R3.11.19（リモート開催）アンケート集計

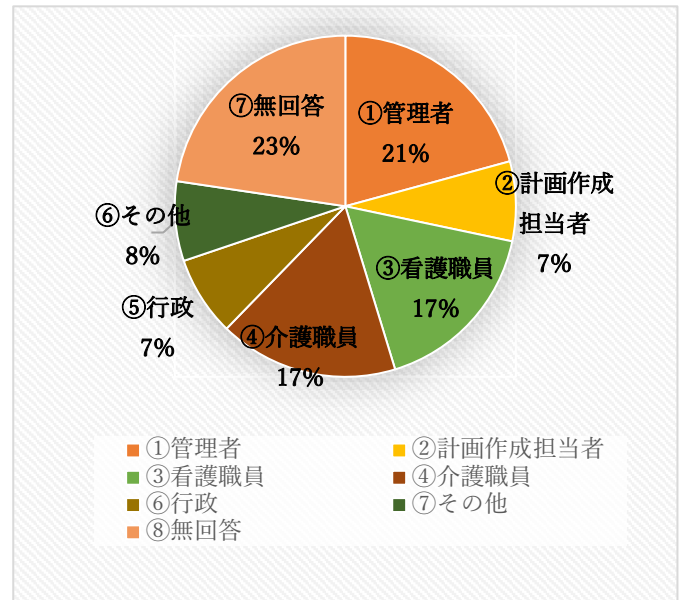
Q1.あなたの事業所の所在地を教えてください。

①東予	6
②中予	16
③南予	11
④無回答	20
計	53



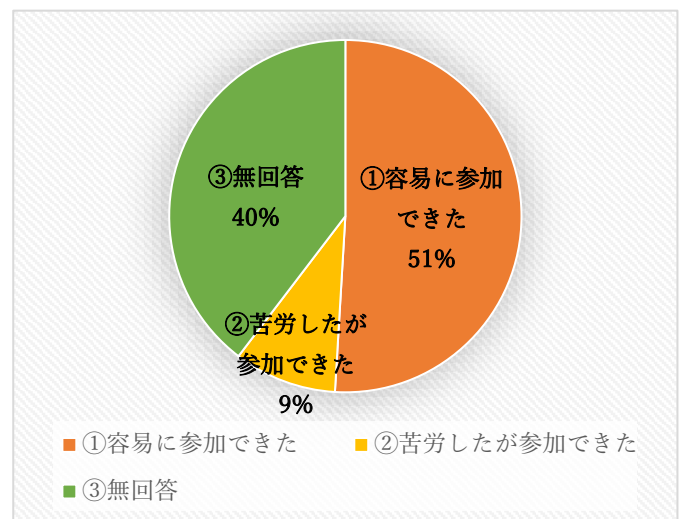
Q2.あなたの職種を教えてください。

①管理者	11
②計画作成担当者	4
③看護職員	9
④介護職員	9
⑤行政関係	4
⑥その他	4
⑦無回答	12
計	53



Q3.今回、リモートでの開催とさせていただきますが、スムーズに参加できましたか？

①容易に参加できた	27
②苦労したが参加できた	5
③無回答	21
計	53



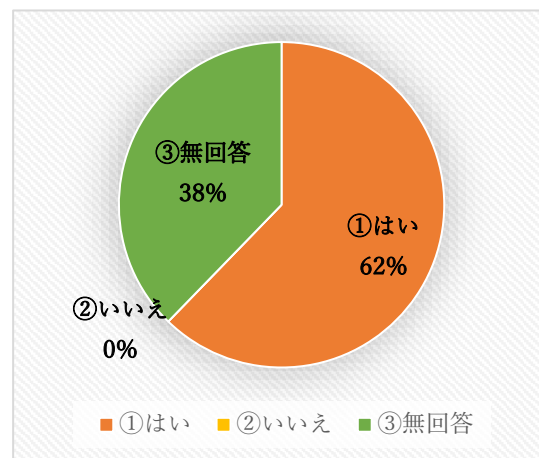
Q4.リモートでの開催について、何かお気づきの点があれば教えてください。

- ・参加しやすかったです。
- ・分からない事が分からないです。
- ・特に問題なく参加できました。
- ・会場開催の方が良かったのではないのでしょうか。
- ・研修場所に行かなくても研修に参加できるのが良かったです。
- ・思っていたより参加しやすく、講師の先生のお話もよく聞いたので良かったです。
- ・リモートは初めてでしたが、わかりやすかったです。
- ・声が小さかったので途中でイヤホンを取りに行きました。
- ・便利で良かったです。
- ・最後まで、画像も音声もよく聞こえ、見ることができました。
- ・どうしても、職員さんに呼ばれて研修を抜けてしまう状況でしたが、職場を離れずに参加ができる良さも実感できました。また、遠方の方に講師になって頂けることがリモートの強みだと思います。
- ・慣れない点多かったが、回を重ねると効率良く学べると思います。
- ・操作方法のマニュアルがあればいいです。
- ・ギリギリまで、業務が出来たので、研修に参加出来てよかったです。
- ・遠くから通うだけでも時間がかかるので、リモートだと参加しやすく助かります。運転手段のない方も参加しやすく、これからもリモートが良いです。
- ・話も聞きとりやすく良かったです。
- ・対面に比べると、心に響きにくいと感じました。
- ・時々通信が弱くなりフリーズしたりすることが難点と感じます。今日は大丈夫でした。今回の研修に関しましては、特にリモートであるからということで問題はなかったと思います。

『地域との関りを持ち続けるために』

Q5.この研修内容は、参考になりましたか？

①はい	33
②いいえ	0
③無回答	20
計	53



Q6.この研修について、ご感想をお聞かせください。（参考になった点等）

- ・今後の活動に活かしたいです。
- ・教育という視点で、認知症介護や価値観を発信いただき、大変関心が高かったです。そのような状況の中で、自分に何ができるのか、考えるきっかけとなりました。また、認知症カフェの実践では、参考になるとともに実践している心強さを感じました。地域づくりの大切なツールとなると思うので、自分の地域に必要なことがどのようなことなのか考えていきたいです。
- ・認知症に対する考え方から認知症カフェの在り方まで、幅広く考えを見直すきっかけとなりました。今後、認知症カフェを運営する際の参考にしたいと思います。
- ・行政で認知症啓発の担当をしています。「地域への教育や伝え方」について、改めて考えることができました。認知症がありのままの形で地域に自然としみこんでいくよう、創造しながら取り組んでいきたいと思います。
- ・認知症の理解が増えました。
- ・認知症カフェについて勉強になりました。
- ・人との関わりが大事だと再確認しました。
- ・認知症カフェについて参考になりました。
- ・家族支援に大切なことは知識的な助言よりも、心の支えになるような言葉かけが大切と感じました。
- ・認知症の方の理解をして頂くには地域の方の協力はとても重要で私もまだまだ協力してもらえよう努力が必要と感じました。
- ・自分では認知症カフェを開催する事は難しいが、地域で認知症に対する偏見が少しでも

なくなるよう働き掛けをしていく必要があると思いました。

- ・ 認知症カフェについて理解が深まりました。また、家族支援の話はとても勉強になりました。
 - ・ 改めて気づかされることが沢山ありました。
 - ・ 認知症カフェの運営の仕方のお話が大変勉強になりました。情報発信できていなかったことを痛感。リニューアルしていこうと思います。
 - ・ 認知症カフェの考え方や取り組み方を具体的に紹介いただき、大変参考になりました。また、認知症の知識の教育の視点も考えさせられました。
 - ・ 地域の力やご家族との関りが大切であると理解できました。
- 認知症カフェは施設で実施するものだと思っていました。もっと幅広い柔軟な考え方で実施ができると知ることができてとても勉強になりました。新型コロナウイルスの影響で地域の飲食店が店を閉めなければならない状況が見られています。地域の飲食店や他の業種と連携して行えるものがないか模索していけたらと思います。
- ・ 認知症カフェについて個人的にもう少し学んでみたいと思いました。
 - ・ 認知症カフェについて、知らなかったことなど沢山知ることが出来ました。
 - ・ 認知症の捉え方。
 - ・ 認知症カフェの構成員や実施形態を詳しく教えて頂き参考になりました。
 - ・ 認知症のご家族の方の苦悩は、私たちのさりげない言葉で救われる事があると知り、専門性も大切ですが、人として利用者、ご家族にどう向き合うかが、大切だと思います。改めて勉強になり、今後につなげたいです。
 - ・ 認知症カフェについて知識が深まりました。
 - ・ 家族の気持ちに寄り添える人でいたいと、あいまいな喪失を聞いて、ホントそうだなあと、感じました。
 - ・ 知識とケアの違いが分かりやすかったです。
 - ・ 専門職として、地域の人に認知症を理解してもらう発信が必要だと思いました。
 - ・ めちゃくちゃ良かったです!!とても勉強になりましたし、先生の柔軟な考え方にもとても感銘を受けました。包括の認知症チーム5名で受けさせていただきましたが、やるぞ!!と思える講習でした。疲労困ぱいの金曜日、反対に元気をもらいました。ありがとうございました。
 - ・ 認知症カフェ誕生の経緯や、わが国でどのように運営されているかを詳細に知ることが出来ました。
 - ・ まだまだ勉強していかなければならないことがたくさん出てきました。
 - ・ 難しかったが自分のためにはなったと思いました。
 - ・ 認知症の知識については、BPSDのあの図で学び、それを元に学んで来たように思いま

す。ただたくさんの方の利用者様と関わることでケアの実践から学んで来たことも多くありました。先生のお話であらためて知識というより関りや対等の立場での関りの大切さを考えました。

Q7. 地域との関りについて、事業所で取り組んでいる事や課題と感ずることは何ですか？

- ・地域サロンを地域の方と開催しています。課題としては仲間づくりや一緒に活動している方とどのように出合えるのかに苦慮しています。
- ・民生児童委員や地域の事業所、専門職等とのネットワークづくりを行っています。そこから何かをするといった段階に進めてないので、何か形に出来るようにしていくことが今後の課題と感ずています。
- ・運営推進会議、認知症カフェ。
- ・地域との関わりが希薄になっています。関わりを持ちたいのですがコロナ・環境などの問題もあり、なかなか出来ていないのが課題です。
- ・過疎化の地域の中で、どのように関わりを持っていくかが課題です。
- ・コロナ禍で難しい事が多いです。
- ・コロナ禍という事もあり地域との関わりが、かなり減ってしまいました。
- ・体操をしていましたが場所が施設内であるため現在中止しています。
- ・地域の催し物への参加等です。
- ・興味のないひとに参加してもらうことです。若い世代への情報発信。
- ・染み込み型の学びではありませんが、関係を作っていくには、継続が大事だと感ずます。
- ・地域サロンの開催場所として事業所を提供しています。
- ・運営推進会議が文書開催となっていますが、認知症カフェと同様に、屋外での実施なども視野に入れていきたいと思ひます。
- ・地域住民とのコミュニケーションをどのようにとるかという事です。
- ・地域のサロンに職員と入居者が参加していましたが、それとは変わる取り組みを何か考えなければいけないです。
- ・新規オープンの施設なので、これからどのように地域の方との関わりを持って行くかを検討しているところです。今日のお話とても参考になりました。
- ・地域とのつながりが難しいです。
- ・"ちょきん体操"コロナ禍で開催できていません。
- ・今はコロナ感染予防もあり、出かけるのも控えているので近所の人と、散歩時に話したり挨拶するくらいです。もっと自由にできたら良いと感ずます。

- ・施設が孤立しているため、中々地域との関わりがありません。
- ・地域清掃や防災訓練を一緒に行っていたが、コロナ禍で地域の行事が減っています。
- ・町内会主催の季節のイベント(お祭り)や児童館のクリスマス会等には参加させていただいていますが、今後は、運営推進会にも出席していただけるよう積極的に働きかけたり、防災訓練にも参加を呼び掛けていきたいです。また、事業所周辺にお住いの、ご老人を抱えるご家族の相談にのることができればと考えています。
- ・法人で認知症カフェの開催も予定していますが、今日学んだ内容の事をふまえた上で参加してみたいと思いました。
- ・まだまだ地域を取り込めていないこと、把握できていません。
利用者様にとって地域とは何…？どこ？
運営推進会議すら開けていませんし、集まりをしていません。事業所に来ていただくのが正直怖いです。

Q8. 今回の研修に参加し、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか？

- ・地域福祉。
- ・実践や経験から学ぶ大切さを実感しました。職員とともに、今、目の前のご利用者から学ぶ姿勢で支援や出会いを楽しみたいと思います。
地域とのネットワークづくりと地域で支える仕組みづくりに取り組みたいです。
- ・認知症カフェの抜本的な改善。
- ・他の事情所と一緒にサロンなどをできるように検討していきたいです。
- ・自ホームの介護をもう一度見直そうと思っています。
- ・認知症高齢者やそのご家族の心を支えられるような支援をしていきたいです。
- ・ご家族と一緒に学べるように、ご家族の気持ちに少しでも寄り添えるようにします。
- ・家族様の思いや利用者様の気持ちを考え、支援できるよう努めていきたいと思っています。
- ・地域との関わりを改めて考えていきたいと思っています。
- ・認知症カフェをより良いものにしていきます。
- ・具体的にはこれからですが、来年度事業の参考にしていきます。
- ・Q8の内容と重なりますが、地域の方が住み慣れた地域で継続して過ごすことができるように支援をしていきたいです。グループホームでできることと言えば、運営推進会議で地域の方に集まって頂き、情報発信をすることだと思っています。
- ・施設の企画に周辺住民との関わりを増やしていきたいです。
- ・認知症について勉強会などしていきたいです。
- ・今は分かりません。
- ・地域に向けて広報誌を発行して配る事で自施設の取り組みをひろめていきたいです。
認知症カフェという言葉は、知っていても実際に足を運んだ事がないので、是非、実際に

- 行って見て体感したいです。そして、その経験を自施設に活かしていきたいと思います。
- ・地域との関りが少しでも出来るように関わっていききたいです。
 - ・認知症カフェに参加してみたいと思います。
 - ・家族の人の気持ちも分かる職員でありたい、他の職員にも同じになってもらえるよう伝えていきたいです。
 - ・少しでも関わりをもてるようにしたいと思います。
 - ・地域の方と一緒にご利用者を支えるように、事業所で行っていることを地域に発信していきたいです。
 - ・認知症カフェ登録制度を作っているところですが、地域にたくさんの認知症カフェができるように取り組んでいきたいと思います。
 - ・認知症カフェのイベントを熟練の介護職員がお手伝いできないかなど、当事業所の職員に対しても理解を促していきたいです。
 - ・自分達の事業所もコロナ禍の中でどう関わっていくか議題があり、話あっているところなので学んだ事を含め職員と話してみたいです。
 - ・地域の巻き込み方の工夫です。

Q9. 今後、愛媛県地域密着型サービス協会に期待する研修内容や要望等について教えてください。

- ・非薬物療法について学習したいと思います。
- ・Zoomによる研修は助かります。
- ・本日は大変貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。今後もよろしくお願ひします。
- ・今回のような、色々な角度からの学びの場を提供してほしいです。
- ・すごくいい研修でした。シリーズ化してほしいです。
- ・今日の研修は今まであまり聞いたことがない視点で、私としては参考になりました。
- ・研修に初めて参加ができました。まだ要望するほどの参加ができていないので要望は控えさせていただきます。
- ・看取りケア
- ・地域密着サービスのあり方、地域との関わりなどです。
- ・研修の機会がありましたら、宜しくお願ひします。
- ・松山市のコロナ陽性者の対応事例がとても良かったです。動画配信が今日までですが自分のこととしてわかってもらいたいので配信を延長して欲しいです。あるいは、また実際の事例があればまた配信してほしいと思います。
- ・矢吹先生の講習をまた聞きたいです。

- ・本人ミーティングやオレンジドアの話も聞きたいです。
- ・BCP やハラスメント、子育て中の職員や老親を抱える職員の働き方(働きやすさ) に関する具体例を用いた研修が開催されれば是非とも参加していきたいと思います。
- ・研修レベルが高くなってきています。合同研修会になると管理者、ケアマネ向け? になっています。介護職員がざっくばらんに話せるような介護職カフェも必要になってきているのではないのでしょうか？